

大腸癌間質における免疫担当細胞と化学療法感受性および癌悪性度の評価

1. 研究の対象

当院で大腸癌に対して切除術を受けられた方

2. 研究目的・方法

大腸癌の腸管のなかでの免疫を担当する細胞が大腸癌においてどのような役割を演じているのかを調べることで、また化学療法のあとにはどのような免疫担当細胞の変化があるのか、それらの変化が癌細胞にどのような影響があるのかを調べることを目的です。大腸癌の手術で切除され保管されている検体を用いて免疫担当細胞を調べます。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、抗がん剤治療の治療歴、カルテ番号、病理検査結果

試料：大腸癌切除検体

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪国際がんセンター 消化器外科 西村潤一

住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

研究責任者：

大阪国際がんセンター 消化器外科 西村潤一

以上